

<ようじむ 幼児向き>

「うんどうかいセブン」

もとした いづみ／作

ふくだ いわお／絵 世界文化社

うんどうかいがにがてな、しいちゃん
のまえに、うんどうかいセブンが
あらわれた！ちょっとズッコケだけど、
心やさしいヒーローだよ。

「もりのてぶくろ」

八百板 洋子／ぶん

ナターリヤ・チャルーシナ／え 福音館書店

もりにてぶくろのようなかたちの
はっばがいちまいおちていました。
はっばにぴったりあうのはだれのと？

「くだものさん」

t u p e r a t u p e r a／さく

学研プラス

くだものさんくだものさんだあれ。
みんながすきなくだものは出てくる
かな？

「さつまのおいも」

中川 ひろたか／文 村上 康成／絵

童心社

つちのなかで、おいもたちはまいに
ちからだをきたえています。こども
たちとのつなひきにまけないように。
たとえまけたって、すごーいおかえし
をしちゃいます。

「せきたんやのくまさん」

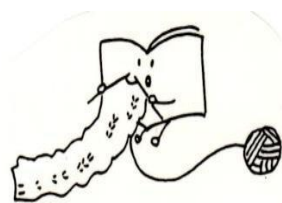
フィービ・ウォージントン／さく・え

セルビ・ウォージントン／さく・え

いしい ももこ／やく

福音館書店

くまさんのおしごとは、せきたんを
うることです。はたらきもののくま
さんのいちにちがはじまります。



「やまなしもぎ」

平野 直／再話 太田 大八／画

福音館書店

むかし、あるところに三人のきょう
だいがすんでいました。ぐあいのわる
いおかあさんのために、おくやまに
やまなしをとりにいきます。

「ごはん」

平野 恵理子／作

福音館書店

ごはんをつかったおりょうりが大
しゅうごう。たきこみごはん、オムラ
イス、おむすび、おすし、かつどん…
すきなごはんはあるかな？

「きのみのケーキ」

たるいし まこ／さく

福音館書店

たぬきがつくったケーキがなくなっ
ちゃった！？もりのみんなは……。

ていかくねんむ
＜低学年向き＞

ほ かき
「干し柿」

西村 豊／写真・文 あかね書房

あまくてやわらかい干し柿は、もとはしぶ柿だったんですよ。どうしたらできるか、作り方もわかります。

きのこ ほうし まい
「きのこ ふうし胞子の舞」

埴 沙萌／写真・文 ポプラ社

きのこのやくめは、たくさんの小さなたね（ほうし）をふりまくこと。きれいで、ふしぎで、とってもかしこい。きのこがもっとすきになります。

「もりのかくれんぼう」

末吉 暁子／作 林 明子／絵 偕成社

こうえんであそんだかえりみち、けいこはおにいちゃんのあとをおって、いきどまりのいけがきをぬけると、そこにはみたこともないおおきなもりがありました。

「きょうのごはん」

加藤 休ミ／作 偕成社

きょうのごはんはなに？ネコがばんごはんのパトロール。カレーにオムライスにコロッケ、どれもとってもおいしそう！

「ざぼんじいさんのかきのき」

すとう あさえ／文 織茂 恭子／絵 岩崎書店

あまい柿をひとりじめするざぼんじいさん。まあばあさんに分けてあげるのは葉っぱや枝ばかり。でも、まあばあさんはいつも大よろこびです。それは……。

「おおきなおおきなおいも」

赤羽 末吉／さく・え 福音館書店

おいもの絵を描きはじめた子どもたち。紙をどんどんつなげると、おおきなおおきなおいもができました。

「おはなしぽっちり あき」

もりやま みやこ／さく
とよた かずひこ／え

小峰書店

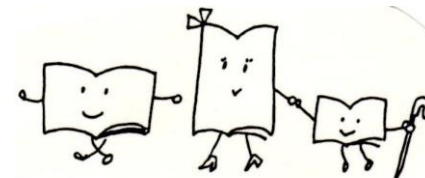
どくしょの秋です。コスモス・ハイキング・きのみ・こがらしなど、秋がもりだくさんのおはなしが9つよめます。

「番ねずみのヤカちゃん」

リチャード・ウィルバー／さく
松岡 享子／やく 大社 玲子／え

福音館書店

ドドさんの家に住むおかあさんねずみと4匹の子ねずみたちは、人間に見つからないようにこっそり暮らしていました。ところが、4番目の子ねずみ・ヤカちゃんは声が大きくて……。



< 中学年向き >

「干したから…」

森枝 卓士／写真・文 フレーベル館

お米にパスタ、干し柿、魚の干物…
みんな干したものです。どうしてわざわざ干したのかな？干すと何が変わるのかな？

「どんぐりと山猫」

宮沢 賢治／作 田島 征三／絵

三起商行

ある日、一郎に届いたおかしな葉書。
「さいばんしますから、おいでんなさい。」それは山猫の判事とどんぐりたちの奇妙な裁判のお誘いでした。

「ゆきひらの話」

安房 直子／作 田中 清代／絵 偕成社

おばあさんがかぜをひいてひとりでおねていると、台所のあたりでコトコトと音がします。だれもいないはずなのにいったいだれでしょう？

「クモのアナンシ」

フィリップ・M. シャーロック／再話
マーシャ・ブラウン／絵 小宮 由／訳
岩波書店

ジャマイカの昔話。アナンシは、時々人間になったり、クモになったりします。そして、ずるがしこさで自分より大きい動物を相手に大活躍。

「かみさまのベビーシッター」

廣嶋 玲子／作 木村 いこ／絵 理論社

福引きで大当たり！幸介はかみさまのたまごを手に入れた。これで幸運にめぐまれて願い事もかなう、はずだったのに、かみさまの赤ちゃんはお世話も大変で……。

「めいちゃんの500円玉」

なががわ ちひろ／作・絵 アリス館

しゃべる500円玉をひろっためいちゃん。500円玉は、めいちゃんの好きなことにつかってほしいみたいだけど……。

「さかさ町」

F. エマーソン・アンドリュース／作
ルイス・スロボドキン／絵 小宮 由／訳
岩波書店

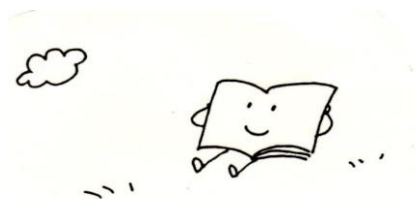
リッキーとアンがおとずれた「さかさ町」は、車は後ろむきで走り、かんばんの字は上下さかさま。おとながあそんで、子どもがはたらいています。

「落ち葉」

平山 和子／文と絵

平山 英三／構成と写真 福音館書店

秋、色鮮やかに染まった落ち葉たち。同じ葉でも色や模様が様々です。自然が作り出す色の美しさを感じることができる本です。



<高学年向き>

「クローディアの秘密」

E. L. カニグズバーグ／作

松永 ふみ子／訳

岩波書店

クローディアは、弟のジェイミーを誘って家出をすることにしました。

なんと家出先はメトロポリタン美術館。

2人は、ミケランジェロ作とされる

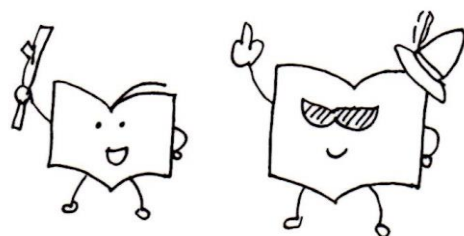
天使の像の謎を解こうとします。

「あした、また学校で」

工藤 純子／著

講談社

大なわとび大会の練習になかった弟が、先生に怒られた。先生や親、周りの大人たちに聞いてみたい。学校はだれのもの？子どもの本当のキモチ。



「岸边のヤービ」

梨木 香歩／著 小沢 さかえ／画

福音館書店

ある日ウタドリさんが岸边で出会ったのは不思議な生きもの「ヤービ」。小さくてふわふわで、水にもぐれて言葉をしゃべる、すてきなヤービとウタドリさんのあたたかい交流が始まります。

「カマキリと月」

マーグリート・ポーランド／作

さくま ゆみこ／訳 リー・ヴォイト／画

福音館書店

月を捕まえようとカマキリはいろいろな方法を考え挑戦しますが……

月を捕まえることはできるのでしょうか。

「お蚕さんから糸と綿と」

大西 暢夫／著

アリス館

滋賀県の山麓の集落に、一軒だけ残

っている養蚕農家。春と秋、お蚕さんを育て、繭から糸をとる。蚕と共に生きる人々の姿を追う写真絵本。

「クルミの森のニホンリス」

ゆうき えつこ／文 福田 幸広／写真

小学館

長野県八ヶ岳の森に生息するニホンリスたちの暮らしを撮影した写真絵本。移ろい行く季節の中、森は姿を変え、ニホンリスたちは命を繋いでいく。

「こんぴら狗」

今井 恭子／作 いぬんこ／画 くもん出版

人間のかわりに、犬が神社にお参りした！？江戸時代には、本当にあった話なんです。江戸から、はるばる四国のこんぴらさんへ、犬のムツキと、いざ、まいろうか！

「寿命図鑑」

やまぐち かおり／絵 いろは出版／編著

いろは出版

動物、植物、食べ物、モノ、天体…生き物だけでなく、こんなものも?! というものまで、いろいろなものの寿命を豆知識と一緒に紹介します。